

平成29年度 第1回鎌ヶ谷市学校給食センター運営委員会会議録

開催日時 平成29年7月27日(木)午後2時00分～

開催場所 学校給食センター2階多目的会議室

出席者 (1) 委員：樋口敏之委員長、石黒茂副委員長、横井隆子委員、
後関俊一委員、川本紀子委員、引田満委員、
高橋正彰委員、山口夏子委員
(2) 事務局：仲田政樹給食管理室長、米井幸男主査、
後野真弥主査、小林敦子栄養教諭、石関直人栄養職員

欠席者 吉田留美子委員、葛山厚志委員、大竹しのぶ委員

傍聴者 なし

1 開 会

2 人事異動等による委員交代につき委員長・副委員長の選任
推薦により、委員長に樋口委員、副委員長に石黒委員が決定

3 議 題

会議録署名人の選出について

会議録署名人を引田委員、高橋委員に指名(名簿順)

(1) 平成28年度学校給食センターの運営について

事務局より資料に沿って説明

<質疑等> 質疑無し

(2) 平成28年度学校給食センターPFI事業モニタリングについて

事務局より資料に沿って説明

<質疑等>

引田委員 : 厨房除害施設についての事故は、人為的なミスか、運用面でのミスかどちらか。

事務局 : 両方である。初めは運用的なミスで、エアブローの故障により、修理までの1か月間で、微生物が減り、水質が悪化した。それによりスカムが発生し、それを取り除く際に、人為的なミスが起きて、流出事

故が発生した。

引田委員 : 運用をしていて壊れてしまうのは、仕方ないことなのか。

事務局 : 維持管理を行い、壊れる前に対策を取る必要があったと考えている。

引田委員 : 事故は、色々なことが連鎖し起こるものと考える。

事務局 : 現在は、内部で点検を実施し、支障のないように運用している。

樋口委員長 : 今は改善に努めているということか。

事務局 : そのとおりである。

(3) 平成29年度学校給食センターの運営状況について

事務局より資料に沿って説明

<質疑等>

引田委員 : 卵・乳・落花生の除去食は、落花生のアレルギーのみの子も、卵・乳を除いてしまうということか。

事務局 : 個別対応は実施していない。除去食の提供方針としては、2種類を提供するとしており、今年度は「卵・乳」と「卵・乳・落花生」の2種類の除去食を提供している。

(4) 平成29年度学校給食全体計画について

事務局より資料に沿って説明

<質疑等>

引田委員 : 昨年、ニュースで刻みのりの食中毒事故があったが、同じように刻みのりを使用していたことがあるのか。

事務局 : 同じようなタイプを使用していたことはある。

使用していたものは、今回、事故を起こした業者のものではなかったが、原因がわかるまでの当市の対応として、この間の刻みのり提供は控えることとした。

引田委員 : 刻みのり全般が使用不可という訳ではないのか。

事務局 : 全般ではない。今回の事故のケースは、手作業の際に、体の具合の悪い状態で素手で作業をしたことが原因であった。当市で使用していた会社に製造工程を確認したところ、刻む過程で作業が必要となるが、その際は手袋をして対応をしているという回答であった。

引田委員 : 手作業を気をつければ問題はないのか。

事務局 : そのように理解している。

(5) 平成29年度第1四半期PFI事業モニタリングについて

事務局より資料に沿って説明

<質疑等>

引田委員 : ダンゴムシは、自動扉から入ってくるのか。閉まっても入ってくるものなのか。

事務局 : 閉まっても隙間から入ってきている。給食センターの性質上、殺虫剤は積極的に使用できないため、掃いて対応をしている。

引田委員 : アニサキスは、誰が見つけたのか。

事務局 : 調理員である。1つ1つ魚の両面を確認している。冷凍されているものなので問題はないが、見つけた際は取り除くようにしている。

(6) その他

①鎌スタ☆20周年記念給食について

事務局より資料に沿って説明

<質疑等>質疑無し

②こどもイベントについて

事務局より資料に沿って説明

<質疑等>質疑無し

③その他

樋口委員長 : 暑い日に熱い物を食べるのは、生徒たちにとっては辛いようである。

最近、冷房で冷やしているので食べやすく感じていると思う。

3 閉会

【会議終了】

以上会議の経過を記載し、相違ないことを証する。

平成29年 9月 6日

署名人 引田 満 _____

署名人 高橋 正彰 _____